

温対新聞

3月31日(金)



2021年度の春日井市役所の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、前年度(2020年度)比16.4%減、基準年度(2013年度)比9.9%減となった。また、令和5年3月に春日井市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)が改定され、温室効果ガス排出量削減目標が引き上げられるとともに、新たに再生可能エネルギー導入目標が設定された。

春日井市役所温室効果ガス 9.9%減

春日井市役所の温室効果ガス排出量の内訳

区分	燃料等種別	基準年度 (t-CO2)	前年度 (t-CO2)	2021年度 (t-CO2)	増減率	
					基準年度比	前年度比
エネルギー起源 (燃料の使用、電気、熱の使用に伴うもの)	電気	21,364	21,977	10,776	-49.6%	-51.0%
	ガス等	11,322	11,357	12,246	8.2%	7.8%
	小計	32,686	33,335	23,022	-29.6%	-30.9%
	公用車	875	851	917	4.8%	7.8%
非エネルギー起源	一般廃棄物(廃プラ)	20,759	24,339	25,000	20.4%	2.7%
合計※		54,320	58,525	48,939	-9.9%	-16.4%

※四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

市役所排出量は48,939トン

業務その他部門に属する春日井市役所の2021年度排出量は48,939tとなり、「春日井市役所地球温暖化対策行動指針」の基準年度(2013年度)から9.9%減少、前年度(2020年度)から16.4%減少した。

エネルギー起源の「電気」の使用に伴う排出量は前年度から概ね半減した。主な要因として、2021年7月から鈴与電力株式会社のCO₂フリー電力を導入し、現

電力需給ひっ迫に伴い、夏・冬とも節電取組みを実施

令和4年度の国内外のエネルギーを巡る情勢の変化や電力需要の増加傾向に伴い、政府は家庭や企業に対し、電力需要が高くなる夏季・冬季に節電要請を行った。

春日井市では節電啓発チラシの掲示やデジタルサイネージを活用した啓発を、市内公共施設やJR春日井駅、JR高蔵寺駅で実施した。

春日井市では節電啓発チラシの掲示やデジタルサイネージを活用した啓発を、市内公共施設やJR春日井駅、JR高蔵寺駅で実施した。

春日井市では節電啓発チラシの掲示やデジタルサイネージを活用した啓発を、市内公共施設やJR春日井駅、JR高蔵寺駅で実施した。

春日井市では節電啓発チラシの掲示やデジタルサイネージを活用した啓発を、市内公共施設やJR春日井駅、JR高蔵寺駅で実施した。

地球温暖化対策実行計画を改定

春日井市地球温暖化対策実行計画が本年3月に改定された。国による「2050年カーボンニュートラル宣言」や、春日井市の「ゼロカーボンシティ宣言」の宣言を踏まえ、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、温室効果ガス

な行動を市民・事業者等へ周知啓発していくことも重要であり、引き続き地球温暖化対策を推進していく。



だ。

今後は、計画に合わせた春日井市役所地球温暖化対策行動指針の見直しを進めることとする。

春日井市 地球温暖化対策実行計画 2023-2030

